

# 令和8年度教員募集要項

令和8年4月6日  
学校法人三重徳風学園

求める教員像	<p>○さまざまな課題・特性・事情を抱え、「困り感」や「生きにくさ」を感じながらも何とか生きていこうと頑張る子どもたちの指導・支援に「働きがい・生きがい」を感じる教員。（“No student is left behind.”）</p> <p>○同僚を助け、役割と役割の隙間にある誰の仕事でもない仕事を自分の仕事と思って行動する「協働の姿勢」と「利他の精神」を体現した教員。（“Collaboration &amp; Altruism”）</p>
--------	---

募集教科・職種・人数	「情報」：教諭又は非常勤講師1名	採用予定日	令和8年5月1日																
応募資格	<p>1 募集教科に応じた高等学校教諭の普通免許状を有すること。</p> <p>2 学校教育法第9条に定める欠格条項に該当しないこと。</p>																		
応募手続	<p>1 提出書類等</p> <p>(1) 「履歴書」(所定様式をホームページ <a href="http://mietokufu.ed.jp/publics/index/4/">http://mietokufu.ed.jp/publics/index/4/</a>に掲載。)</p> <p>(2) 「教育職員免許状(写)」又は「教育職員免許状取得見込証明書」。</p> <p>(3) 最終学歴の「卒業証明書」又は「卒業見込証明書」</p> <p>(4) 110円切手を貼付し、自分の住所・名前を記載した長3封筒</p> <p>2 提出先 〒519-0145 三重県亀山市和賀町1789-4 学校法人三重徳風学園採用係宛 ※封筒表に「教員採用関係書類在中」と朱書きしてください。</p> <p>3 提出期限 令和8年4月20日(月)(厳守)</p>																		
採用試験	<p>1 選考日時 令和8年4月23日(木)午後 ※選考開始時間は応募者に連絡します。</p> <p>2 選考場所 学校法人三重徳風学園(三重県亀山市和賀町1789-4)</p> <p>3 選考方法 個人面接(30分程度。15分程度の延長もあり得ます。)</p> <p>4 選考結果</p> <p>○ 教諭:次のア～ウのうちどの結果であったかを、選考後できるだけ早い時期に通知する予定です。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">ア 内定</td> <td>採用内定となった旨を通知します。但し、提出書類及び個人面接の状況を総合的に評価した結果、募集職種に内定ではなく、「任期付き教諭」に内定とすることがあります。</td> </tr> <tr> <td>イ 内定留保</td> <td>「採用候補者名簿」に応募年度を含め2年間搭載され、欠員が判明した教科について選考状況の良い人から採用内定となる旨を通知します。</td> </tr> <tr> <td>ウ 不合格</td> <td>選考に漏れた旨を通知します。</td> </tr> </table> <p>○ 非常勤講師:「内定」又は「不合格」のどちらの結果であったかを、選考後できるだけ早い時期に通知する予定です。</p>			ア 内定	採用内定となった旨を通知します。但し、提出書類及び個人面接の状況を総合的に評価した結果、募集職種に内定ではなく、「任期付き教諭」に内定とすることがあります。	イ 内定留保	「採用候補者名簿」に応募年度を含め2年間搭載され、欠員が判明した教科について選考状況の良い人から採用内定となる旨を通知します。	ウ 不合格	選考に漏れた旨を通知します。										
ア 内定	採用内定となった旨を通知します。但し、提出書類及び個人面接の状況を総合的に評価した結果、募集職種に内定ではなく、「任期付き教諭」に内定とすることがあります。																		
イ 内定留保	「採用候補者名簿」に応募年度を含め2年間搭載され、欠員が判明した教科について選考状況の良い人から採用内定となる旨を通知します。																		
ウ 不合格	選考に漏れた旨を通知します。																		
勤務条件	教諭	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">初任給</td> <td>221,450円(四年制大学新卒者の場合で調整手当を含む。既卒者は職歴加算有り。)</td> </tr> <tr> <td>手当</td> <td>通勤手当、住宅手当、扶養手当、主任手当、各種特別勤務手当、時間外労働手当、休日労働手当 等</td> </tr> <tr> <td>賞与</td> <td>年2回4ヵ月、但し勤務1年目は3.2ヵ月。(前年度実績)</td> </tr> <tr> <td>昇給</td> <td>有り。</td> </tr> <tr> <td>勤務時間</td> <td>「勤務時間8時15分から17時まで。休憩45分。」を基本としつつ、年度当初・年度末等は「勤務時間8時15分から18時まで。休憩60分。」の日もある「1年単位の变形労働時間制」を採用し、夏季・冬季休業日に労働時間4時間の日や、ほとんどの教職員が勤務しない「学校閉業日」を設けるなど、年間総労働時間の縮減を図っています。</td> </tr> <tr> <td>休日・休暇</td> <td>土・日曜日(面接指導(スクーリング)実施日、オープンキャンパス実施日等を除く。)、祝日、創立記念日、年次有給休暇(時間年休可)、特別休暇(産前産後、慶弔関係等)、育児・介護休業</td> </tr> <tr> <td>福利厚生</td> <td>私学共済(健康保険・年金)、雇用保険、労災保険、定期健康診断、退職金制度</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td> <p>1 「任期付き教諭」は1年ごとの更新で最長3年の任用。1～3年後、勤務状況等により教諭に正式採用可。</p> <p>2 授業以外に担任業務や教務・生徒指導・進路指導・広報のうちいずれかの分掌業務を担う。</p> <p>3 本学園には生徒寮(土日・長期休業日は閉寮し、寮生は帰省。)があります。宿直で寮監業務に従事できる方を歓迎します。寮監業務に従事した場合は寮生徒指導手当が支給されます。また、寮監業務に従事せず、生徒寮を生活の本拠とすることも可能です。</p> </td> </tr> </table>		初任給	221,450円(四年制大学新卒者の場合で調整手当を含む。既卒者は職歴加算有り。)	手当	通勤手当、住宅手当、扶養手当、主任手当、各種特別勤務手当、時間外労働手当、休日労働手当 等	賞与	年2回4ヵ月、但し勤務1年目は3.2ヵ月。(前年度実績)	昇給	有り。	勤務時間	「勤務時間8時15分から17時まで。休憩45分。」を基本としつつ、年度当初・年度末等は「勤務時間8時15分から18時まで。休憩60分。」の日もある「1年単位の变形労働時間制」を採用し、夏季・冬季休業日に労働時間4時間の日や、ほとんどの教職員が勤務しない「学校閉業日」を設けるなど、年間総労働時間の縮減を図っています。	休日・休暇	土・日曜日(面接指導(スクーリング)実施日、オープンキャンパス実施日等を除く。)、祝日、創立記念日、年次有給休暇(時間年休可)、特別休暇(産前産後、慶弔関係等)、育児・介護休業	福利厚生	私学共済(健康保険・年金)、雇用保険、労災保険、定期健康診断、退職金制度	その他	<p>1 「任期付き教諭」は1年ごとの更新で最長3年の任用。1～3年後、勤務状況等により教諭に正式採用可。</p> <p>2 授業以外に担任業務や教務・生徒指導・進路指導・広報のうちいずれかの分掌業務を担う。</p> <p>3 本学園には生徒寮(土日・長期休業日は閉寮し、寮生は帰省。)があります。宿直で寮監業務に従事できる方を歓迎します。寮監業務に従事した場合は寮生徒指導手当が支給されます。また、寮監業務に従事せず、生徒寮を生活の本拠とすることも可能です。</p>
初任給	221,450円(四年制大学新卒者の場合で調整手当を含む。既卒者は職歴加算有り。)																		
手当	通勤手当、住宅手当、扶養手当、主任手当、各種特別勤務手当、時間外労働手当、休日労働手当 等																		
賞与	年2回4ヵ月、但し勤務1年目は3.2ヵ月。(前年度実績)																		
昇給	有り。																		
勤務時間	「勤務時間8時15分から17時まで。休憩45分。」を基本としつつ、年度当初・年度末等は「勤務時間8時15分から18時まで。休憩60分。」の日もある「1年単位の变形労働時間制」を採用し、夏季・冬季休業日に労働時間4時間の日や、ほとんどの教職員が勤務しない「学校閉業日」を設けるなど、年間総労働時間の縮減を図っています。																		
休日・休暇	土・日曜日(面接指導(スクーリング)実施日、オープンキャンパス実施日等を除く。)、祝日、創立記念日、年次有給休暇(時間年休可)、特別休暇(産前産後、慶弔関係等)、育児・介護休業																		
福利厚生	私学共済(健康保険・年金)、雇用保険、労災保険、定期健康診断、退職金制度																		
その他	<p>1 「任期付き教諭」は1年ごとの更新で最長3年の任用。1～3年後、勤務状況等により教諭に正式採用可。</p> <p>2 授業以外に担任業務や教務・生徒指導・進路指導・広報のうちいずれかの分掌業務を担う。</p> <p>3 本学園には生徒寮(土日・長期休業日は閉寮し、寮生は帰省。)があります。宿直で寮監業務に従事できる方を歓迎します。寮監業務に従事した場合は寮生徒指導手当が支給されます。また、寮監業務に従事せず、生徒寮を生活の本拠とすることも可能です。</p>																		

非常勤講師	職務	各募集教科の週当たり6～8コマ程度の授業を担当する。(少ないコマ数でも相談可。)	
	手当	授業1コマ(45分)の実施(教材準備、試験等を含む。)に係る支給額は2,800円。	
	その他	契約期間は令和8年度末まで。その後、1年ごとの契約更新可。	
個人情報取扱	応募書類は教員採用だけに使用し、目的外使用及び返却はいたしません。予め御了承ください。		
その他	本学園には他ではあまりみられない特色ある仕組み・取組が多くあり、それらを“徳風スタイル”と呼んでいます。“徳風スタイル”の説明や種々の相談を希望される場合は、遠慮なしに御連絡ください。		
問合せ先	教頭 神谷卓敬 (かみや たかひろ)	TEL:0595-82-3561(代)	<a href="mailto:toku9@mietokufu.ed.jp">E-mail:toku9@mietokufu.ed.jp</a>

## 【参考：「学校経営シート」より抜粋】

### スクール・ミッション

- 1 さまざまな課題・特性を持ち、「困り感」や「生きにくさ」を感じながらも頑張っている子どもたちを受け入れ、仲間と共に学校生活を送る場を徹底して保障する学校。
- 2 生徒が「社会人として必要な基礎的・基本的な学力」と「職業人として必要な実践的・専門的な技能」を身に付け、入学時に想定されたよりも大きな成長を遂げて「自立と社会参加」を果たす学校。
- 3 生徒が「この学校で学べて良かった」、保護者が「この学校に通わせて良かった」、教職員が「この学校で勤務して良かった」と心から思える学校。

### スクール・ポリシー

#### ○ 目指す生徒像

- 1 **自己成長感**（「できなかったことや諦めていたことができるようになった。得意だったことがもっと得意になった。」という実感）、**自己効力感**（「どのような問題でも、関連する知識を身に付けたり情報を得たりして努力・工夫すれば、ある程度は解決できる。自分もやればできる。」という実感）、**自己有用感**（「集団や社会の一員として自分は確かに役立っている。」という実感）を持った**自尊感情**の高い生徒
- 2 **自己指導能力**（その時、その場で、何をすべきで何をすべきでないのか、どのような振る舞いが適切なのかを、自ら考え、判断し、自主的・主体的に行動する能力）を有する生徒
- 3 **ソーシャルスキル**（他者と良好な関係を形成・維持していくための知識・技能）と**ライフスキル**（社会生活・職業生活等に必要な基礎的・基本的な知識・技能）を身に付けた生徒

#### ○ 目指す職員像

- 1 多忙な同僚を助け、役割と役割の隙間にある誰の仕事でもない仕事を自分の仕事と思って動く**協働と利他**の精神を体現した職員
- 2 スクール・ミッションの実現に向けて主体的に職能成長を続ける**専門職**としての姿勢を体現した職員
- 3 「優しさ」と「厳しさ」を併せ持ち、「個性」を生かしつつ「同僚性」を高め、「自由」を愛し「規律」を尊ぶ姿勢を調和的に体現した職員

### 徳風スタイル

	主な“徳風スタイル”
教育システム	<input type="checkbox"/> 「高専併修」による“ダブルスクール教育” <input type="checkbox"/> 日本語コース設置 <input type="checkbox"/> チーム担任制(注1)
学校生活	<input type="checkbox"/> 30人学級 <input type="checkbox"/> 9時30分始業 <input type="checkbox"/> スクールバス通学 <input type="checkbox"/> 生徒寮 <input type="checkbox"/> 「徳風総合支援プログラム」(注2) <input type="checkbox"/> 「三重徳風学園奨励金制度(エンカレッジ制度)」(注3)
授業	<input type="checkbox"/> 45分5限授業 <input type="checkbox"/> 5日間の定期試験 <input type="checkbox"/> ライフスキルとソーシャルスキルの習得 <input type="checkbox"/> 補充授業の実施(注4) <input type="checkbox"/> 「自立支援型デュアルシステム」の実施(注5)
<p>(注1) 学級担任を一人の教員に固定せず、当該学年に所属する複数の教員がチームとなり、学級における生徒の指導・相談等の業務をチーム全員がローテーションを組むなどして担当する学級・学年運営の方法のこと。</p> <p>(注2) 医療・福祉・行政等の関係機関と連携し、特別な支援を必要とする生徒の成長を適切に支援する取組のこと。</p> <p>(注3) 困難な状況を「バネ」にして頑張る生徒(アルバイトをして家計を助ける生徒、家族の世話、介護等に励むヤングケアラーの生徒等)や学校指定の運動部に所属し勉学との両立に励む生徒等への経済的支援を目的とする奨励金制度のこと。</p> <p>(注4) 怠学以外のやむを得ない理由で欠席が多くなった生徒について、欠課時数が所定の基準を超えた科目等の履修を認定できるようにするため、超過時数分を補充するために行う特別授業のこと。</p> <p>(注5) インターンシップの標準的な実施方法や一部の専門高校が実施している「日本版デュアルシステム」とは異なる、本校生徒の実態等に即した拡大版インターンシップのこと。</p>	

